平成27年2月12日（木）下野新聞掲載

life くらし

健康110番

国際医療福祉大学病院です ㉙

孫の便秘がひどい

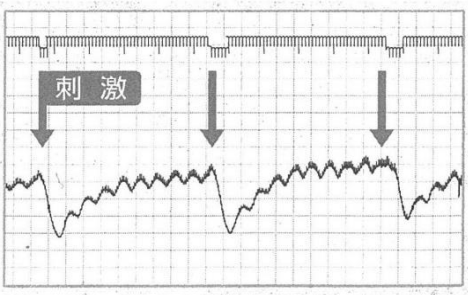
Q 5歳になる男の孫がいます。2歳の頃から便秘がひどくなり、最近はかん腸をしないと1週間以上も排便がありません。これまでいくつかの医療機関で診てもらいましたが、下剤を処方されたのみで一向によくなりません。最近は下着を汚すようになり、小学校入学を控えて心配です。

A 子供の便秘は2歳から4歳の間に始まる例が多く、食事内容の変化や通園や通学による環境の変化に伴って出現します。硬い便による排便時の痛みや不適切なトイレットトレーニングで、排便することに不快感を持つ子供は排便を避けるようになり、慢性機能性便秘症という状態に移行することがあります。

森川康英医師

便秘の頻度は学童では約20%という調査結果もあり、特に珍しいものではありません。しかし、便に血が混じる場合や、おなかにしこりが触れたり肛門の位置や形に異常があったりする場合、そして脊髄の異常や甲状腺の異常がある場合は専門医に相談をすべき赤信号状態ですので注意が必要です。

血便やしこりは赤信号



正常な直腸肛門反射

刺激に応じて内肛門括約筋の圧の下降が認められる。この反射が無い場合にはさらに専門的な検査が必要となる

便秘の診察にはまず、おなかに大きな便の塊がないか触診やエックス線、超音波などで確認を行います。さらに、必要に応じて注腸造影検査を行って、その際に実際に排便をさせてみて、排便に必要な筋肉の緩み具合を観察することも行われます。

もし、直腸が狭く造影される場合には、ヒルシュスプルング病という先天的な病気を除外するために小児外科専門医がいる施設で直腸内括約筋反射（図）という反射があるか検査を受ける必要もあります。また、脊椎の先天異常の有無も調べてもらいましょう。

下着の汚れが起きる場合には、便の塊によって直腸がふさがれている状態（便塞栓）があり、便塊の横を便汁が流れ落ちるために遺糞症という状態を生じていると思われます。

このような状態ではまず便の塊を取り除いた上で便通の改善のための維持療法を行います。1週間程度便塊の除去が行われると維持療法に移行しますが、成人に用いられる薬の中には小児には適応がないものもあるので、注意が必要です。

食物繊維も排便にとって効果があります。健康維持のために1日に必要な食物繊維は年齢＋5㌘以上とされています。また、漢方薬も成人同様子供の便秘にとっても有効ですので、担当の先生に相談されるとよいでしょう。

親御さんたちはゆったりとした気持ちで決してお子さんを責めたりせずに、幼稚園や学校の先生の理解と協力も得て状態の改善を目指すことが大切です。

（小児外科　森川康英）

（第2、4、5木曜日掲載）